

ご用命・お問い合わせ先
アペックス産業株式会社
電話 03-3455-6474
FAX 03-3455-6558
＜詳しいご案内は当社のホームページをご覧ください＞
URL <http://www.apex-sangyo.jp>

●切り取って保存してご利用ください。

APEX CLUB '19/5

アペックス産業株式会社 第47号

『APEX CLUB』

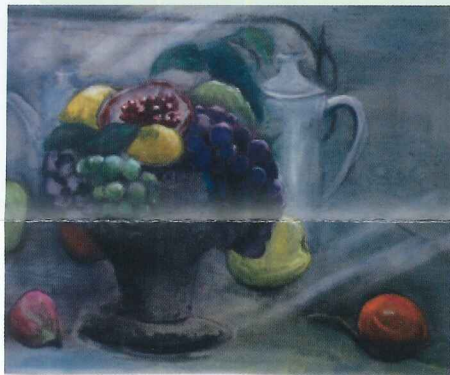
発行 2019年5月1日(通算47号)
発行所 アペックス産業(株)「APEX CLUB」編集委員会
〒105-0014 東京都港区芝2-23-4
電話 03-3455-6474 FAX 03-3455-6558
ホームページ <http://www.apex-sangyo.jp>
発行人 元木 貢 (編集委員)山口力広、高塚章夫
佐々木 健
(事務局)齊藤久美

ギャラリー

第4回「綾展」



女流画家の草分け、故桜井浜江先生のお弟子さん、顧問をされていた東京女子医大職員美術部のOBら有志による第4回綾展が東京銀座の「GALLERY 風」で、去る3月に開催されました。今回はその中から8点をご紹介します。



「朝のくだものたち」堀 桂子



「慈」黒沢 裕子



「静物」安藤 節子



「龍」元木 貢



「クレッシェンド」タカタマツコ



「猫」益田 陽子



榎 多佳子「ゲツセマメの園」



「むだい」成田 昭



おじま虫 Q&A

キモグリバエ科

すっかり気温も下がった一月、お客様より、冬には珍しくマンションの高層階の窓にたくさんのおハエが張りついているというお話をいただきました。体長二〜三ミリ程度の小さい黄色いハエです。黄色い小さなハエと聞くと、シヨウジョウバエの仲間を想像してしまいがちですが、どうやら違うようです。顕微鏡でよく見てみると、それはキモグリバエ科というコバエの仲間でした。キモグリバエ科の幼虫は、植物の茎や根に潜入して生活するほか、腐敗植物質や菌類を食して生活する種類もあります。キモグリバエ科は冬期に発生する種類もあり、今回の件については、マンションに隣接する広大なお屋敷の植栽にて発生したキモグリバエ科が、窓に多く張りついたのではないかと考えられます。

写真はウォーキングでの通勤途中、現場を通りかかった時に、駅舎の向こうに見えた日の出の光景です。



このように当社では、多くの協力会社様や薬剤・機材メーカー様と共に、技術とサービス品質の向上に日々、精進しております。

特にドブネズミの事例では反響が多く、昔は防除の中心がドブネズミだったことに対して、最近ではクマネズミばかりがクローズアップされる中、現在また徐々にドブネズミの被害が増えつつあることを感じさせられました。

技術交流会は、業務提携会社様、薬剤・機材メーカー様等をお招きして、現場での事例や失敗例、害虫などを防除する新しい手法等を各社が発表することで、活発な情報交換を行うことを目的とした研修会です。ほぼ毎年開催され、今回は第二十五回目の開催となりました。今回の内容としては、ドブネズミの防除事例やトコジラミの防除事例、ゴキブリの殺鼠剤への食害事例、家屋でのネズミ施工事例、飛翔昆虫の新型捕獲器の実験と商品紹介等が発表されました。

技術交流会は、業務提携会社様、薬剤・機材メーカー様等をお招きして、現場での事例や失敗例、害虫などを防除する新しい手法等を各社が発表することで、活発な情報交換を行うことを目的とした研修会です。ほぼ毎年開催され、今回は第二十五回目の開催となりました。今回の内容としては、ドブネズミの防除事例やトコジラミの防除事例、ゴキブリの殺鼠剤への食害事例、家屋でのネズミ施工事例、飛翔昆虫の新型捕獲器の実験と商品紹介等が発表されました。

平成三十一年三月一日、当社では二年ぶり(昨年はペストロジー学会に振り替え)の実施となる技術交流会を開催いたしました。

むし籠

高輪ゲイトウェイの夜明け

山手線に一九七一年の西日暮里開業以来、約四十年ぶりに新駅が誕生します。

駅名は公募により「高輪ゲイトウェイ」に決定しました。品川・田町間の都営浅草線の泉岳寺駅近くです。

二〇二〇年春に暫定開業し、周辺は五千億円規模の再開発をして、二〇二四年に本格開業するとのことです。



技術交流会

平成三十一年三月一日、当社では二年ぶり(昨年はペストロジー学会に振り替え)の実施となる技術交流会を開催いたしました。

技術交流会は、業務提携会社様、薬剤・機材メーカー様等をお招きして、現場での事例や失敗例、害虫などを防除する新しい手法等を各社が発表することで、活発な情報交換を行うことを目的とした研修会です。ほぼ毎年開催され、今回は第二十五回目の開催となりました。今回の内容としては、ドブネズミの防除事例やトコジラミの防除事例、ゴキブリの殺鼠剤への食害事例、家屋でのネズミ施工事例、飛翔昆虫の新型捕獲器の実験と商品紹介等が発表されました。

虫めがね

おかげさまでアペックスは十二月に七〇周年を迎えます

昭和二十四年(一九四九年)、当社はアペックス煙蒸株式会社として、創業者・元木三喜男により港区芝浦に設立されました。名前の通り当初はペスト菌を運ぶネズミを駆除するため、船舶を青酸ガスにより煙蒸するという危険な仕事でした。



「女性自身に掲載」(1965年)

昭和40年代前半の事務所(中央左の2階建て)(都電大門停留所の前にアペックスの看板)



本年度は「おかげさまで七〇周年感謝の気持ちを伝えよう」をスローガンに、働き方改革を推進し、害虫のいない清潔で安全な環境づくりに取り組みんでいます。